

ナイルの流れに

カイロ日本人学校 Noboru Ozawa



H.28.3.27

No.38

イタリア旅行 ～フィレンツェ～

ルネサンスの中心都市、現在はトスカーナ州の州都である**フィレンツェ**。いつか、一度は訪れてみたいと思っていました。**フィレンツェの街は、建物がオレンジ色の屋根とクリーム色の壁**でほぼ統一され、近代的な高いビルディングはありません。**街全体が美術館のような雰囲気**を漂わせ、街を歩いているだけで自然と穏やかな気持ちになりました。

街の中心には、**サンタ・マリア・デル・フィオーレ大聖堂**が、ひととき存在感を放ち、いつも大勢の観光客で賑わっています。巨大なドーム（**クーポラ**と言います）が特徴的で、上まで階段があり登ることができます。クーポラの上からのフィレンツェの街が一望で



ミケランジェロ広場からのサンタ・マリア・デル・フィオーレ大聖堂

き、時間がたつのも忘れてただ眺めていました。写真の左の塔は、**ジョットの鐘楼**といい、ここも階段で上まで登ることができます。

イタリアルネサンスの絵画が多く收藏されているのが、ウフィツィ美術館です。美術館の建物は16世紀に建てられ、もともとは官庁として使われていました。「**ウフィツィ**」とは、**英語の「オフィス」の語源**にもなっています。美術館内は、フラッシュを使用しなければ写真撮影が自由にできます。入場チケットですが、大変混み合うのでインターネットで日時を指定して事前に予約します。予約書（バウチャー）を当日窓口を持って行きチケットと交換して入館します。当日チケットを購入することもできますが、予約しておけば長時間並ぶ必要がありません。ウフィツィ美術館だけでなく、飛行機、ホテル、列車のチケットなど、インターネットで自分で事前に購入できるのでとても便利です。



ボッティチェリ「春（プリマヴェーラ）」

ルネサンスの絵画として最も有名な作品は、歴史の教科書にも載っている**ボッティチェリの「ビーナスの誕生」と「春（プリマヴェーラ）」**です。

「春」は、横約3m 縦約2mの作品ですが、実感としてはもっと大きく感じられ、見る人を惹きつける不思議な力を感じました。有名な作品だけを選んで観ましたが、それでも約3時間が過ぎていました。心地よい疲労感を感じながらウフィツィ美術館を後にしました。